

監査委員公表第1号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する、第199条第1項及び第2項並びに第4項の規定に基づき実施しました監査について、その結果に関して講じた処理状況が管理者等から通知されましたので、同条第14項の規定により、次のとおり公表します。

令和6年3月29日

四日市港管理組合

監査委員 加藤 光

監査委員 野村 保夫

監査の結果に基づいて講じた措置

監査対象部局	四日市港管理組合全体	実施年月日	令和5年9月8日
監査の結果		講じた措置（処理状況） 経営企画部総務課	
<p>(1) 公用車の事故にかかる事故防止対策について</p> <p>令和2年度に公用車の事故が多発したことから、各所属とも公用車の事故にかかる事故防止対策に取り組んでいるところであるが、不注意による物損事故が散見される。重大事故につながる恐れもあるので、今後も管理組合として公用車の事故防止に取り組まれない。</p>		<p>(1) 公用車の事故にかかる事故防止対策について</p> <p>公用車の事故を防止するため、全職員を対象に外部講師による交通安全研修を実施するとともに、令和5年12月には各所属長あてに依命通知を発出し、交通事故防止の注意喚起を行いました。</p> <p>さらに、事故を起こした職員や公用車の利用頻度が高い職員に対しては、令和5年10月と令和6年1月に三重県交通安全研修センターにおいて実施された体験型のドライバー団体研修に参加してもらうことで、交通安全意識の向上を図りました。</p> <p>その結果、公用車の事故について、令和2年度は6件ありましたが、令和5年度は1件に減少しています。</p> <p>今後も引き続き、職員の安全運転意識の向上に取り組み、公用車の事故防止の徹底に努めます。</p>	

監査の結果に基づいて講じた措置

監査対象部局	四日市港管理組合 経営企画部振興課	実施年月日	令和5年9月8日
監査の結果		講じた措置（処理状況）	
<p>(1) 貿易振興対策における補助交付金について</p> <p>貿易振興対策における補助交付金について、毎年不用額が多額になることから、不用額が少なくなる工夫を検討されたい。</p>		<p>(1) 貿易振興対策における補助交付金について</p> <p>不用額が発生している要因としては、補助金の新規申請額の把握が困難なことや、申請額と実績額との間に乖離が生じていることによるものです。</p> <p>新規申請額の把握については、荷主企業や船会社への訪問の際、申請の意向確認を行いました。</p> <p>また、申請額と実績額との間の乖離については、申請者に対して現実的な目標値を設定するよう促しました。</p> <p>こうした取組を通じて、引き続き、不用額が少なくなるよう努めます。</p>	

監査の結果に基づいて講じた措置

監査対象部局	四日市港管理組合 経営企画部建設課	実施年月日	令和5年8月28日
監査の結果		講じた措置（処理状況）	
<p>(1) 予算執行について</p> <p>所属に配当された予算の執行について、極力不用額を出すことなく、有効的に執行するよう努められたい。</p>		<p>(1) 予算執行について</p> <p>予算を計画的に執行するため、毎月1回、事業進捗会議を開催しました。事業進捗会議では、各事業のスケジュールに対する進捗状況の共有を行いました。なお、当初のスケジュールから変更が生じている事業については、課題や今後の見通しを的確に把握し、年間の所要見込額を精査しました。</p> <p>引き続き、事業進捗会議を継続的に開催し、年間の所要見込額を踏まえた適切な補正対応を行うことにより、極力不用額を出すことのないよう有効的な予算執行に努めます。</p>	

監査の結果に基づいて講じた措置

監査対象部局	四日市港管理組合 経営企画部防災営繕課	実施年月日	令和5年8月23日
監査の結果		講じた措置（処理状況）	
<p>(1) 技術の継承について</p> <p>経験年数の長い職員の技術やノウハウ等を、将来に渡って継承していくことができる体制づくりを検討されたい。</p>		<p>(1) 技術の継承について</p> <p>技術やノウハウ等を継承する体制づくりとして、新たに「防災営繕課技術研究会」を発足しました。この研究会は、各職員のさらなるスキルアップを支援するため、ベテラン職員から若手職員へ技術やノウハウ等の伝達を行うとともに、他の専門知識を持った職員との知識や技術の共有、スキルアップに取り組むモチベーションの維持・向上を図ることを目的としています。</p> <p>今年度の研究会は、机上と現場において、以下のとおり開催しました。</p> <p>(ア)先進地視察報告会</p> <p>ベテラン職員と若手職員から構成されるグループが先進地視察の内容について課内で報告会を行いました。</p> <p>(イ)技術報告会</p> <p>ベテラン職員が過去の現場経験から得た技術や知識、関連する法令関係について課内で報告会を行いました。</p> <p>(ウ)現場見学会</p> <p>大規模工事の現場において、工事担当職員が難航した箇所の施工方法について説明を行いました。</p> <p>技術やノウハウ等の継承には長い時間をかけた地道な取り組みが必要となりますので、今後も研究会を継続的に開催し、技術やノウハウ等の継承に努めます。</p>	